

3月
2(月)

一人一人を起こして 立てよう

みことば そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強く
テモテ 2:1 なりなさい。

「牧師先生は、いつもは何をしているのですか」トオルのお父さんは長老ですが、いつもは銀行で働いています。それで、トオルは、牧師先生がいつもはどんな職場に行つて、なにをしているのかと尋ねたのでした。牧師先生がしている一番重要なことはなんでしょうか。

1. 牧師先生(牧会者)は、イエス様のお使いをしているのです
神様は、牧師先生に信徒を祝福する「祝福権」礼拝をみちびく「礼拝権」重要なことを決める「判決権」をくださいました。この特権を持って牧師先生は、信徒1人1人の生活に神様のみことばを伝えてくださいます。

2. 私はどのように牧師先生を助けることができるのでしょうか
牧師先生を助ける副教役者(副牧師、講道師、伝道師)も、レムナントに神様のみことばを伝える重要な役割をしてくださいます。ですから、レムナントは毎週日曜の講壇のみことばを通して受けた恵みを黙想して実践することによって、牧師先生を助けて現場で福音を伝えなければなりません。

3. 1人1人を生かす現場の宣教師と重職者になりましょう
牧師先生が講壇で神様のみことばを伝える牧師ならば、重要な職分を引き受けた神様の子どもである重職者は、現場で福音を伝える「現場宣教師」です。レムナントである私たちが、こういう重職者として、あちこちに立てられれば、多くの人が大きい力と大きい祝福を受けて生かされるようになります。

重職者: 油を注がれた人として、教会の長老、勸士、按手執事をさすことば

神様に おいのりします
神様が私たちの教会をたてくださって、牧師先生、副教役者、重職者を祝福して下さって、感謝します。私もこの人々にたすけてもらって、福音をもった霊的なエリートとして育ち、世界福音化に用いられるように働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検: 昼12時 □ - 教会のために祈りましょう
夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう





ひとつとなつて祈るときに奇跡がおきます！

430 年間、エジプトの奴隷だったイスラエルの民が、契約（出 3:18）をにぎってひとつとなつたとき、エジプトから出る奇跡がおきました。

昼 12 時、レムナントがひとつとなつて教会のために祈り、夜 9 時にレムナントのための文化センターである RUTC のために祈ってみてください。レムナントがひとつとなつて祈る瞬間、神様の奇跡がはじまります。

12 時！教会のための祈りの文章を書いてみましょう。

9 時！RUTC のための祈りの文章を書いてみましょう。



3 月
3(火)

いの つうしん
パウロの祈り通信

みことば パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニアに出かける使徒 16:6 ~ 10 ことにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだ、と確信したからである。

まったくアジアの地域に伝道の門が開かれませんでした。それで、パウロと伝道チームは、フルギヤ・ガラテヤ地方を通過して、ピテニヤに行こうとしたのですが、聖霊さまが許されませんでした。ムシヤを通過して、トロアスに行った日の夜に、パウロは神様に深く祈りました。今から、パウロの話を聞いてみましょうか。

1. 神様の約束をにぎってお祈りしましょう
ダマスコで、復活されたイエス様が私に直接、会ってくださいました。「律法」と「熱心」で、むなしい信仰を探し回っていた私は、キリストであるイエス様を通して救いを受けました。なぜ、今、伝道の門がよく開かれないのかわかりません。でも、確実な神様の約束をにぎって、今夜には、かならず祈ります。

2. 神様のみことばの流れにしがって祈りましょう
神様は初代教会時代に伝道チーム全体に、異邦人を生かしなさいとみことばをくださいました。特別に、私たちのアンテオケ教会は、宣教のために立てられた教会です。また、多くの偶像と迷信が大きい力を使うマケドニア地域では、信仰で霊的な戦いをする準備を堅くして祈らなければなりません。

3. 教会の方向に合うように祈りましょう
パウロが祈った時、神様は幻を通して重要なことを悟るようになされました。教会の方向に合うように、レムナントも講壇のみことばを黙想しながら祈ってみましょう。ローマを福音で征服したパウロのように、私たちも私たちの現場で全世界を生かす唯一の答えを受けるようになるでしょう。

神様にお願いします

神様のみことばをにぎって祈ることができるように祝福してくださって感謝します。私たちの家庭も初代教会のミッションホームのように、神様があたえてくださったみことばをにぎり祈って、世界福音化に用いられる、幸せな信仰の家庭になりますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 □ - 教会のために祈りましょう
夜 9 時 □ - RUTC のために祈りましょう

3月 インマヌエルの祝福を味わおう 4 (水)

みことば 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名は
マタイ 1:18~25 インマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、
という意味である。)

クリスマスは、全世界の人が喜ぶ日です。家族で大事な人の誕生日を迎えたら、家族みんなが喜ぶように、私たちを救ってくださったイエス様の誕生日を地球全体の家族がお祝いするのです。何よりも、クリスマスの本当の意味を知るならば、私たちはもっと大きな真の喜びを味わうことができます。

1. 「インマヌエル」は、神様が来られたということです。

聖書で預言されたとおり処女の体を通してイエス様がお生まれになりました。ただひとり、罪がないイエス様だけが、人間のすべての問題を解決されたキリストの働きをされるのです。「インマヌエル」とは、神様が私たちを救うために、永遠にともにおられるために、この世に来られたということです。

2. 「インマヌエル」を悟れば本当に感謝できます

勉強ができて、性格が良くて、すばらしい体でも、解決できない霊的問題があります。霊的問題におちいると、大きな苦しみにあうようになります。神様が私の主人になってくださり、いつもともいおられれば、私が少したりなくても、福音で何でも勝てるので、感謝が自然に出てきます。

3. 「インマヌエル」を味わえば、本当に答えを受けます

インマヌエルを味わうレムナントには、毎日、毎日がクリスマスです。神様がともにおられるから、勉強する時でも、家でも、大きい問題に会った時でも、本当に答えを受けます。今日から気をおとさずに、神様の大きい力を受けるように聖霊で満たされましょう。そうすれば、地の果てまで聖霊に満たされた証人になって、数多くの友だちを福音で生かすことができます。

神様、おいのりします
悪魔のどれいになっていた私()を救ってくださった神様に感謝します。
いままで隠していた私がわからない問題を解決してください。私の家と学校とすべての現場にいつもインマヌエルを味わうレムナントとして導いてくださるイエス・キリストのお名前でお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼12時 □ - 教会のために祈りましょう
夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう

くらく 苦楽をともにする

私の心の中に主人でおられる聖霊さまは、私といつもいっしょにおられ、私の悲しみ、私の悩み、私の苦しみをともに味わってください。

そして、喜びや楽しいこともいっしょに味わってください。これが「苦楽をともにする」ということです。苦楽をともにして、十分にインマヌエルの祝福を味わいましょう



意味がわかったら
書いてみましょう

くらく 苦楽をともにする

私の歴史記録

定刻祈りの点検：昼12時 □ - 教会のために祈りましょう
夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう



3月 霊的な目をパッと開きましょう
5(木)

みことば そして、これが、^{ほどこ}施しを求め^{もとめ}るために宮の「^{うつく}美^{しの}の門」にすわって
使徒 3:1-10 ^{おどろ}いた男だとわかると、この人の身に起こったことに驚き、あきれた。

「もう学校には来なくてもよい」^{でんきゅう}電球を^{せんこいじょう}ふくめた千個以上の^{はつめい}発明をした、^{はつめいか}発明家トーマス・エジソンは、小学校から^お追い出された子どもでした。しかし、エジソンのお母さんは、他の人が見ることができないエジソンの^{さいのう}才能を見たのでした。-----

1. 目を大きく開いて神様の力を見ましょう

イエス様が、神様に会う道を開いてくださいました。^{つみ}罪とのろいから^{かいけつ}解決して、^{あくま}悪魔のしわざを打ちこわされました。神様の約束を^{やくそく}かたくにぎったレムナントが、それぞれの現場で神の国を見る時、^{せいれい}聖霊に満たされる大きい力が^{あらわ}現れます。神様の力を見ることが出来る目がパッと開かれました。

2. 目を大きく開いて祈りの力を見ましょう

神様の子どもは、イエス様のお名前^{いの}で祈ることが出来ます。^{しんこう}信仰の祈りは、^{いの}すばらしい力を見せます(霊的な科学)。今日の本文のペテロとヨハネのように、時間を^{さだ}定めて祈った時、足のきかない者が^お起きるみわざが^お起きました。^{かれ}彼らのように、レムナントも祈りの力を体験してみましょう。

3. 霊的な目を大きく開くレムナントになりましょう

ペテロとヨハネは、神様の力と祈りの力を体験しました。それで、足のきかない者を見たらすぐに、世の人とはちがう^{れいてき}霊的な目が開かれたのです。その人にならず必要なのは、少しのコインではなく、イエス様を受け入れて神様の子どもにならなければならないという^{れいてき}霊的な事実^{じじつ}を見ました。神様はいつも^{れいてき}霊的な目を大きく開いた^{しんこう}信仰の人々に^{ひとびと}答えられました。

私(^{れいてき}神様に ^{おいのり}します)をレムナントとして呼んで、^{れいてき}霊的な目を開けてくださった神様に^{かんしや}感謝をささげます。毎日、神様の力と祈りの力を体験して、神様が私とともに^{さいこう}おられることが最高の祝福だとよるこんで、また、あかしして生きることが出来ますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：^{ひる}昼12時 □ - 教会のために祈りましょう
^{よる}夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう

^{れいてき}霊的な目 ^{れいてき}霊的な目が開いたペテロとヨハネは、足のきかない者を^{おこ}起こしました。足のきかない者は^{よろこ}喜んで、神様をほめたたえました。ペテロとヨハネのように^{れいてき}霊的な目がパッと開いた私の^{すがた}姿を^{そうぞう}想像して、クレヨンできれいに色をぬってください



3月 さいごもち 最後まで用いられるレムナント 6(金)

みことば ペテロはこれを見て、人々に向かってこう言った。「イスラエルの人たち。
使徒 3:1-25 なぜこのことに驚いているのですか。なぜ、私たちが自分の力とか信仰
深さとかによって彼を歩かせたかのように、私たちを見つめるのですか。

「最後に笑う者が、一番大きく笑うのだ」という言葉があります。失敗する人は、毎回、はじめは大げさなのですが、そのことを最後までする力がたりません。反対に、成功する人は、最後を考えて、ことをはじめます。どのようにすれば、神様に最後まで用いられることができるのでしょうか。

1. 神様の前で仕事をするレムナント

未信者も信徒も、すべてのいのちを神様がおさめておられます。それで、神様の前で仕事をする人を、神様が最後まで責任を負ってくださいます。人に認められて、いくら有能でも、神様の計画や方向と全く合わなければ、ただ少しの間、用いられて消えてしまいます。

2. 福音の、福音による、福音のためのレムナント

神様は、人間が絶対に解決できない霊的な問題を解決するために福音をくださいました。それで、福音が何か知っている人(福音の)、福音的な方法で生きる人(福音による)、福音を目標ににぎった人(福音のため)が、神様に最後まで用いられます。

3. 神様の栄光の前で行うレムナント

人々は、人気と富と名誉と知識に、声をあげて喜んで熱狂します。また、そのようなことを目標にして、手段と方法をなにもかもかわないで、熱心に生きます。人々は足のきかない者が起きた時、ペテロとヨハネに注目しました。しかし、彼らは神様にすべての栄光をおささげしました。神様だけに、すべての栄光をささげることが、レムナントが一生用いられる秘訣なのです。

神様に おいのりします

人々にほめられるより、神様の大きな喜びになりたいです。私の欲を満たすより、福音の人として立ちたいです。ゆれないうで、いつも神様にだけ栄光をおささげする、すてきなレムナントとして私を導いてくださる、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

キリストはね

キリストはね
キリストはね
私の中におられるの

キリストはね
キリストはね
私に
聖霊をくださるの

キリストはね
キリストはね
私に
喜びをくださるの

文と絵_オン・ヨンジュ・プチョン小学校4年、ハンピッ教会

定刻祈りの点検：昼12時 □ - 教会のために祈りましょう
夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう

3 月

7 (土)

おはなし黙想

家族を福音化した よめ お嫁さんの祈り

冬将軍が新芽が出てくるのをいやがったのか、あいかわらず、寒い風が吹いているある日のことだった。公園に遊びに行った私は、偶然に教会の長老さんに会った。

「こんにちは、長老さん。なにをしているのですか」

「なにかというと、伝道しているのだよ」

「こんなに寒い日にですか」

「もちろん。寒い時も出てきて、とても暑い

時にも出てきて、雨がざあざあ降っても

出てきて、雪がコンコン降っても出て

くるんだよ。私は伝道することが

生きがいなんだよ。ハハハ」

長老さんは、目をぱちくりさせている

私を見ながら、しばらく笑っていた。

私は長老さんが伝道を続ける理由が何か気になった。

長老さんは、「すべて、優しい私の
お嫁さんのおかげなんだよ」と言われた。

そして、イエス様を信じるようになった話をされた。

ある日曜日の午後、長老さんは、お嫁さんが小脇に何かを持って家に入ってくるのを見るようになった。長老さんは、それが聖書だと分かって、怒りが頭まできたそう。長老さんは、考えることもできず、棒でお嫁さんをたたいたのだった。

「家に宗教が2つあれば、ほろびるということ知らないのか。どこのキリスト野郎が家に入ってきたのか--エイ！」



長老さんは、手に持っていた棒を投げ捨てて部屋に入ってしまったのだった。

その知らせを聞いた長老さんの息子は、お酒をいっぱい飲んで入ってきてお嫁さんに話した。

「おまえは私の父が熱心な仏教信者であること分かりながらも、どうしても教会に行かなければならないのか」

「あなた、私は神様を信じることをあきらめることができません」

「それでもあきらめられないのか」

息子は、ふところに入れていた包丁をお嫁さんに向けながら話した。

お嫁さんは、自分に刃物を向ける夫をながめながら「私が死ぬことがあっても、あきらめることはできません。」と話した。

息子は、とても妻を殺すことができなくて、刃物を床に刺して出て行ってしまった。

その日から後、お嫁さんは、ご飯を炊いて茶碗に入れる時ごとに祈った。

「神様、このご飯を食べる私たちの家族みんながイエス様を信じて救われますように」

神様はお嫁さんの祈りに耳を傾けられた。そして、お嫁さんの祈りのとおり。

お嫁さんがついたご飯を食べた家族みんながイエス様を信じて教会に通うようになった。

「わあ、本当、すごい！」長老さんの話をみな聞いた私は言った。

「そうだろう。あなたも家族と友だちのために祈りなさいね。神様は、かならず答えてくださるのだよ」

「はい、長老さん！」

私は大きな声で答えた。



どのようにすれば、福音の唯一な祝福を受けることができるのでしょうか

1. レムナントが神様に信じれば、だれも防ぐことができなくて(絶対性)、必要だからかならずなるしかない(必然性)、唯一の祝福を当然(当然性)受けるようになります。
2. レムナントが神様が約束された聖霊の満たし(使徒 1:8)を受ければ、どんな現場でも福音の証人になります。
3. レムナントがサタンのささやきにだまされないで神様の子ども(みぶん)の身分と権威を味わえば、毎日、勝利します。

ていこくいの 定期祈りの点検：昼12時 □ - 教会のために祈りましょう

よる 夜9時 □ - RUTCのために祈りましょう